

遠賀川流域 団体紹介

嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会



遠賀川に流れるゴミの約70%は草なんです。

遠賀川に限らず、日本の多くの河川に流れているゴミの多くは、草木(草や木等の植物)です。大雨が降ると大量に川の下流(遠賀川河口堰[芦屋町])へ流れ出し、時には海にまで流れてしまいます。遠賀川ではその撤去に毎年約2千万円の税金が使われています。

葦を有効活用する一石三鳥の取り組みとは？

今回ご紹介するのは、嘉麻市の「嘉穂水辺の楽校」周辺を活動の拠点として取り組んでいる団体、「嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会」のみなさんです。

「嘉穂水辺の楽校」周辺は、河川敷の散策や、子供たちのカヌー教室など地域の憩いの場だったのですが、近年葦が大量に川面に繁茂するようになり、川の利用が難しくなっていました。

そこで、葦を定期的に伐採し、施設を使いやすくするばかりでなく、刈り取った葦を肥料にした米作りにも挑戦しています。

葦はつい最近まで家畜の糞尿と混ぜ合わせて肥料として使われていましたが、近年になり、安価で簡単に手に入る化学肥料が出回り始めると手間のかかる葦の肥料は次第に作られることがなくなってしまいました。

会では、この葦の肥料を復活させる事(葦を刈取る事)で、①川のゴミの減量を図る。②美しい川面が形成され、川に親しむ事ができる。③葦の肥料で作物を育てる。という一石三鳥の効果を目指して活動しています。

葦を使った「遠賀川の葦米」。ブランド化するか!?

刈り取った葦は小屋へ運び、細かく裁断した後、米ぬか・水を混ぜて発酵させるなど完成まで約半年もかかります。「葦の肥料は米等の農作物に適している」との大学の評価もあり、会では米作りを一昨年前から取り組み始めました。

初めての米作りは、肥料の配合の失敗で出来は今ひとつ。配合を調整して挑んだ2年目(昨年)は、驚くほど美味しい米が出来たそうで、これを更に改良を施した今年(3年目)の出来栄が今から楽しみです。

今後の活動としては、「遠賀川の葦米」としてのブランド化や、野菜作り等も挑戦し、成功した暁には「流域全体のモデル事業となりたい」との事でした。



遠賀川流域だより

第20号
平成23年6月



葦を刈り取り、裁断して、堆肥に



葦の堆肥を田んぼに施して、田植え



実った稲を収穫し、おむすびにして試食

なかま三世代ふれあいの会

～地域の活性化と子供たちのために～

子供の日が近づくと遠賀川流域の河川敷のあちこちで見ることができる“巨大な鯉のぼり群”を遠賀川流域で最初に始めたのが今回紹介する「なかま三世代ふれあいの会」のみなさんです。会は平成11年に、中間市の老人クラブ、婦人会、企業OB会、子供育成会などが集まって結成され、子供から老人まで様々な世代(三世代)がふれあいながら地域づくりに励まれています。



遠賀川の春の風物詩 「遠賀川鯉のぼり祭り(中間市)」

中間市役所前の河川敷に、延長250mにわたって立ち並ぶ鯉のぼりは約120匹。

平成12年から始まって今年で12回目を迎えた「遠賀川鯉のぼり祭り」。毎年休まずこれだけの数を準備するのは大変だったそうですが、町の活性化の為、そしてなによりも子供達の笑顔の為に続けてこれたそうです。

昔はあちらこちらの民家の庭で見られた風景ですが、今ではめっきりすくなくなりました。高々と揚がる鯉のぼりは、幼少の頃を懐かしむと共に、今の子ども達には“ふるさとの原風景”として心に刻まれていることでしょう。

これからの夢(活動)とは

これまでの他の活動は、毎年3月に地元の幼稚園と実施する「サケの稚魚放流会」や、中間市のお盆の風物詩である「精霊流し」で使用される灯籠(水に溶ける材料)の製作など、多岐にわたっています。

今後の計画として考えているのは、現在、遠賀川で整備中である環境共生を主とする湿地の自然再生事業「中島(中間市)」での活動です。「子供たちと共に楽しめる様々な活動のアイデアを進めたい」と完成を楽しみにされていました。



詳しい情報はWebで!! 「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」にはより詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。※検索画面において、[遠賀川流域だより](#) [ダウンロード](#) で検索してください。

遠賀川流域活動報告

◆嘉麻地区◆ 水と緑はつながっています。 3月13日(日)

[詳しい記事を見る](#)



山が荒廃して、木々が朽ちています。

森は多くの木々が根っこをしっかりと張ることで地下に水を貯め、地すべりを防いでくれるなど、大変重要な役割を持っています。

しかし遠賀川の源流付近では人工林(杉檜)が多く、台風や大雨などで木々が倒されたり山肌が露出したりと、荒廃した山々が多く見られます。

そうした現状を改善しようと「遠賀川源流の森づくり推進会議」では、遠賀川源流近くの山々を中心に、昔のような自然豊かな山に戻そうと“落葉樹(クヌギ、ヤマザクラ、カエデなど)”の植樹活動を平成9年から続けています。

今年の植樹会は天候にも恵まれ、趣旨に賛同して集まったボランティアはなんと約200人。約4kmの登山の後、様々な世代のみなさんが力を合わせて大切に苗木が植えられました。



開会式の様子 「夢サイトかほ」にて



親子で植樹 次の世代に受け繋ぐ



作業の後は豚汁をおいしく頂きました。

◆飯塚市◆ 河川敷で自然観測「遠賀川むしめづる観測会」開催 5月1日(日)

[詳しい記事を見る](#)

関西や福岡を中心に”むし”をキーワードに自然観察に取り組んでいるのが「蟲愛會(むしめづるかい)」です。

5月1日に会の主催で、飯塚市芳雄橋周辺の遠賀川河川敷において、「遠賀川むしめづる観測会」が開催されました。遠賀川の流域は大変変化に富み、実に多くの種類のむしが生息しているとの事。

観測会では、五感を使ってむしを探しながら、植物の観察や草花遊びを行いました。子供たちは、むしの視点になって自然を眺める事で、普段は気付かなかった何げない自然の多彩さ、本当の自然の姿を実感できたようです。



↑テーマのひとつ「遠賀川の黄色い花を見比べよう」



たくさんとれたよ。



←土手には菜の花や大根の花がいっぱい。

◆遠賀川流域◆ 毎年5月30日は”遠賀川ゴミゼロ”の日です。5月11日～6月10日

[詳しい記事を見る](#)

今年も流域関係機関が連携して「春の遠賀川一斉清掃(7市12町)」が実地されました。

遠賀川流域ではゴミの不法投棄や、ペットボトル・空き缶などのポイ捨てが多く、毎年、洪水と一緒にゴミが下流に流れ、海にまで達することがあります。

遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会では、平成21年度から河川愛護団体や住民・企業・行政などに呼びかけ、毎年、5月11日～6月10日までの期間を「春の遠賀川一斉清掃月間」とし、遠賀川の上流から下流までの流域全体で河川清掃が行われました。



水巻町 遠賀川河川敷



中間市 曲川(切畑橋～鳴王子橋)



大量のゴミが集まりました。



自転車なども荷台いっぱい。

◆田川市◆ 福岡を代表する祭り「川渡り神幸祭」5月21・22日(土・日)

詳しい記事を見る

田川市伊田、風治八幡宮の「川渡り神幸祭」は、福岡県五大祭の一つに数えられる筑豊地区を代表するお祭りで、今年は5月21日・22日に行われました。

遠賀川水系彦山川を舞台にした「川渡り神幸祭」は、風治みこし、白鳥みこし、1～11番山笠が順番(例外あり)に川を渡る「川渡り神事」や、みこし2基が同時に立ち、山笠が「ガブリ(山笠を前後に倒す)」で豪快な水しぶきを上げる「川渡り競演会」など、今年も詰めかけた多くの観覧者を魅了しました。



◎祭りを通して伝えたかった”小学生の想い”

毎年、川渡り神幸祭の季節になると、会場に隣接している伊田小学校の児童の皆さんは、お祭りへの想いと、ふるさと

の川(彦山川)への想いを込めた(メッセージを書き込んだ)ダンボール製のゴミ箱を作成します。

毎年作成されるゴミ箱の数は250個。書き込まれたメッセージには「私たちの大切な彦山川をゴミでよごさないで」「マナーを守って祭りを楽しもう」等、純粋な子どもの気持ちが込められています。

この「書き込み」の効果は非常に大きく、5年前の設置開始から年々ゴミの収集量が増え続け、今では、会場周辺にポイ捨てされてるゴミは殆ど見当たらなくなりました。

華やかな「川渡り神幸祭」の成功の裏には、こうした人たちの多くの支えがある事を忘れてはなりません。



伊田小学校の児童の皆さんの想いが書き込まれたゴミ箱



祭りを支える地元ボランティアの方々



◆田川市◆ 「タガッパ学校 in 田川」を開催しました。 6月4日(土)

詳しい記事を見る

6月4日、彦山川の高柳堰(田川市大字糺)において、小学生を対象とした「タガッパ学校 in 田川」が開催しました。

タガッパ学校とは、田川市の住民で構成される「田川ふるさと川づくり交流会」が主催する環境イベントで、カヌー体験や水質・水生生物調査を通じて、子供たちに彦山川の河川環境を肌(体)で感じてもらい、将来の彦山川を担う人材を育てようと平成16年から始まりました。



◎カヌー教室

カヌー教室では、川遊びの楽しさを教えるばかりではなく、川の恐ろしさや危険性、川から見た自然の様子など、日常生活では感じる事の出来ない、貴重な体験が出来ました。

◎水質・水生生物調査

今回は、田川市内を流れるいくつかの河川において、少し広範囲な調査を実施しました。

川の水の透明度や水の汚れ具合、川で捕獲した生物など、それぞれの河川毎に比較した結果、同じ市内でありながら、それぞれの河川毎に大きな違いがあり子供たちは一様に驚いていました。

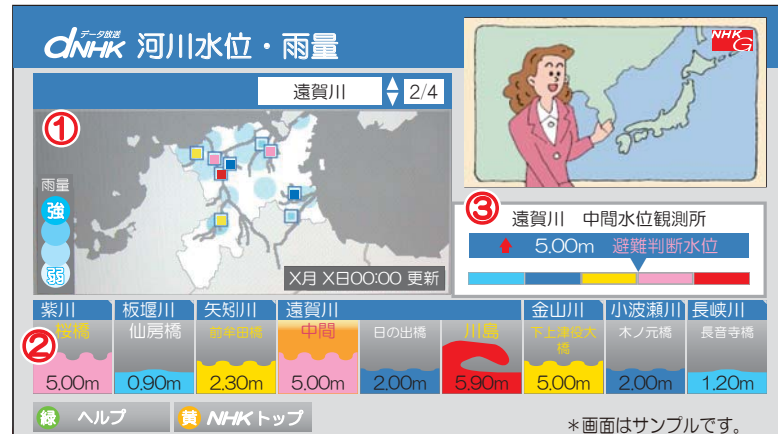


遠賀川河川事務所からのお知らせ ～大雨・洪水への備え～

梅雨の時期を迎え、これから台風接近やゲリラ豪雨などに伴う大雨による被害を未然に防ぐため、自主的な避難情報の収集が必要となってきます。

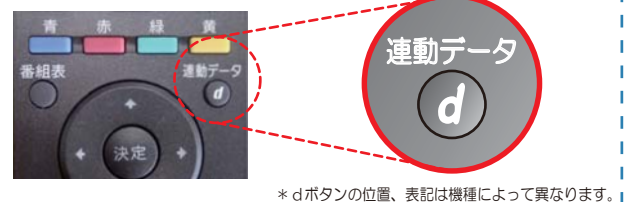
現在、普及が進んでいる地上デジタル放送対応テレビで、遠賀川などの河川水位情報がデータ放送にて、見る事が出来るようになりましたのでご紹介致します。

地上デジタル放送対応テレビのデータ放送で河川水位・雨量情報を見る。



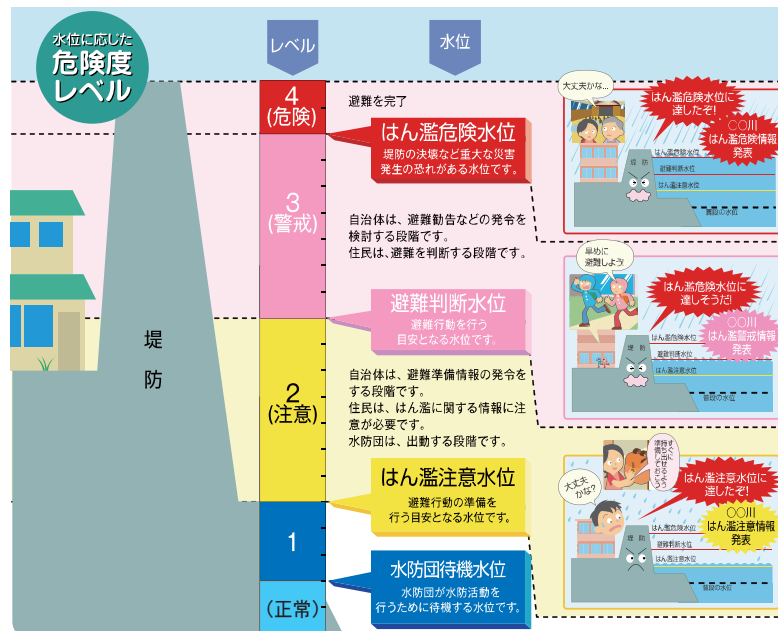
1. 地上デジタル放送対応テレビ又は、地上デジタル放送チューナー（データ放送対応）でチャンネル（放送局）を「NHK 総合」に合わせる。

2. リモコンのdボタンを押します。



3. NHKデータ放送内のメニューから、「河川水位・雨量」を選択し、決定ボタンを押します。

4. 「河川水位・雨量」では、矢印キーの上下で地区を、左右で観測所を切りかえます。詳しくはリモコンの緑ボタンでヘルプをご覧ください。



避難の目安 ～水位に応じた危険度レベル～

- 川には避難の目安となる、水位に応じた危険度のレベルがあります。各レベルの内容や意味、とるべき避難行動等は左記の様な状況を示しています。
- 各自治体から発表される「避難準備情報・避難勧告・指示」などや河川情報に注意して、危険だと判断したら指示が鳴くとも早めの避難を心がけましょう。

流域内のイベント等の予定

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|
| ・ 7月16日（土）～17日（日） | 遠賀川リバーチャレンジスクール | 直方市〔遠賀川地域防災施設〕 |
| ・ 7月21日（木） | 金辺川めだかの学校 | 田川市香春町〔呉ダム溪流公園〕 |
| ・ 7月23日（土）、24日（日） | ひびき青年会議所 河川環境学習会 | 中間市 |
| ・ 7月24日（日） | 遠賀川源流の下草刈り | 嘉麻市 |
| ・ 7月31日（日） | 第32回遠賀川川下り大会 | 飯塚市～直方市〔菜の花大橋〕 |

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
 住所 直方市溝堀1丁目1-1
 電話 (0949) 22-1830
 FAX (0949) 22-2859
 HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
 電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>